

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・指定都市名	大阪府	学校名	大阪府立大阪わかば高等学校		
人権課題	障がい者	対象学年・教科	全年次・総合的な探究の時間	時数等	3時間
目標・人権教育のねらい	人権学習「自分らしく生きる」から、社会の中で自分らしく生きようとしているゲストの方のお話を聴き、一人ひとりが自分らしく生きるためにはどうすればいいかを考える。				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権講演のテーマに合わせ、事前学習を実施（1時間） 【テーマ】「自分らしく生きるために」 ・各人権課題における当事者等のゲストの方々を招いてそれぞれのお話を聞く（2時間） ①②トランスジェンダーf to m 当事者として ③大阪教育大学フラワーのみなさん（性の多様性を考える） ④在日コリアとしての葛藤と魅力 ⑤わかばカフェスタッフ（ひきこもり、不登校を考える） ⑥犯罪被害者ご遺族の方 命の大切さを考える ⑦本校卒業生 全盲のダンサー・ドラマー⑧家族・学校・職場で生きづらさを抱えて ⑨大阪わかば高校卒業生⑩中国ルーツ卒業生 				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の人権計画を通して、多角的観点から考えられるようにした。 ・人権学習講演に向け、事前に各人権課題について学びを深め、受講させた。 ・生徒は事前学習を受けた上で、自らの課題や関心に合うよう受講希望するテーマを記入させ、選択できるようにした。 <p>A ジェンダーについて①②③ B 多文化共生について④⑧ C 生きづらさを抱えて⑥⑦ D 将来への不安⑤⑧⑨⑪ E 言葉の壁⑩（中国語・英語・やさしい日本語）</p>				

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科との
関連

人権学習の年間計画を意識して、個々の人権課題を網羅して人権感覚を養うベースとした。

事業成果

【知識的側面】 Q. 今日の人権LHRを受けて、大切だと思ったこと、心にのこったこと、感じたこと：

当事者の方のこれまでの人生の中で経験したこと差別を聞いて、同じように自分も今まで「自分と違って〇〇できないからかわいそう」と思ってしまった自分気づいた／「かわいそう」などの感情は、当事者の方やその家族に不快なものになっていると感じ、考えることができた／障がいがあっても「自分のやりたいこと」を全力で頑張っている姿に感動し、私たちと何も変わらないと感じた

【価値、態度的側面】 Q. すべての人が「自分らしく生きる」ために、何が必要だと思いますか？：

障がいの有無に関係なく、何かに全力で取り組み頑張ることが大事。その頑張りを認め合うことが大事／個々の違いを受け入れることが大事。「人はちがっていい、ちがうから人間同士が関わる中で『喜怒哀楽』が生まれ、成長につながるんだと改めて実感した

【技能的側面】 すべての人が「自分らしく生きる」ために、あなたはどのようなことができますか？：

自分が今回学習したこと「色眼鏡」で人を見ないことができる／自分の価値観を押し付けるのではなく、相手がどうしたいのか・どうしてほしいのかということをもまずは聞くことができる

○学校教育自己診断結果（生徒アンケートより）

「人権について学ぶ機会がある」 R4/76.7% ⇒ R5/91.9%（目標値83%以上）

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	大阪府	学校名	大阪府立大阪わかば高等学校		
人権課題	部落問題	対象学年・教科	2年次以上・総合的な探究の時間	時数等	2時間
目標・人権教育のねらい	同和問題（部落差別）についての知識を正しく理解し、自分の身の周りにある偏見に気づく機会とする。また、自分自身がもっている偏見に気づく契機とし、差別のない社会を構築するために何ができるか考える態度を養う。				
実施した内容	<p>【テーマ】「福田村事件から学ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約100年前の関東大震災直後に起きた東京での行商団が虐殺された「福田村事件」を題材として、なぜそのような事件が起きたのかの背景や原因について理解を深める。同時に、同和問題とは何かについてワークシートで理解を深める。（1時間） ・100年前の出来事と現在身の回りで起きていることを比較し、共通点を見つける。被害者にも加害者にもならないためにどのように行動するか考える。（1時間） 				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・同和問題の知識が全くない生徒もいるので、初めから丁寧に伝えた。 ・プリントにルビ、スライドに英語を付れたり、日本語指導が必要な生徒への配慮を行った。 ・ニュース番組の動画やニュースサイトなど最近の報道記事等を資料として生徒たちにより理解を深める工夫をした。 ・生徒どうしで話し合う時間や考える時間を設けるなど、教員から生徒に質問しながらインターラクティブな授業形態で行った。 				

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科との
関連

・地歴公民にて、基本的人権について学習した。その際には、総合的な探究の時間での人権学習の年間計画を意識して、個々の人権課題に触れながら人権感覚を養うベースとした。

事業成果

(授業での振り返りシートより)

Q.あなたが今日、知ったこと、学んだこと、もっと知りたい、大切にしようと思ったことを書いてください。

【知識的側面】

ネットやテレビでの情報を鵜呑みにせず、差別は偏見的な考えを持たずに正確な情報を知った上で、自分でもよく考えるようにする。また SNSへの書き込みなどの際は、その書き込みをみた人がどう思うかなどを考えてから投稿書き込みをする / 民族差別と同様に部落差別はとても怖いことだと感じた

【価値、態度的側面】

人を差別しない / 周りをもっと知ろうと思いました / 過去のことをこれからも知っていくことや伝えることが大切だと思いました / まず相手のことを知って、相手の気持ちを考えることが大切だと思いました / いろんな人がいるってことを理解する / 知ろうとするのをやめない / never support fake news

【技能的側面】

情報を得る際は、それが正しい情報かを考え判断することができる / 部落差別などの現実を知り、当事者の想いや辛さに共感することができる / 正しい知識を後世に伝えていくことができる

○学校教育自己診断結果 (生徒アンケートより)

「人権について学ぶ機会がある」 R4/76.7% ⇒ R5/91.9% (目標値83%以上)

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・指定都市名	大阪府	学校名	大阪府立大阪わかば高等学校		
人権課題	多文化共生・外国人	対象学年・教科	全年次・総合的な探究の時間	時数等	3時間
目標・人権教育のねらい	人権学習「自分らしく生きる」から、社会の中で自分らしく生きようとしているゲストの方のお話を聴き、一人ひとりが自分らしく生きるためにはどうすればいいかを考える。				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権講演のテーマに合わせ、事前学習を実施（1時間） 【テーマ】「自分らしく生きるために」 ・各人権課題における当事者等のゲストの方々を招いてそれぞれのお話を聞く。（2時間） ①②トランスジェンダーf to m 当事者として ③大阪教育大学フラワーのみなさん（性の多様性を考える） ④在日コリアとしての葛藤と魅力 ⑤わかばカフェスタッフ（ひきこもり、不登校を考える） ⑥犯罪被害者ご遺族の方 命の大切さを考える ⑦本校卒業生 全盲のダンサー・ドラマー⑧家族・学校・職場で生きづらさを抱えて ⑨大阪わかば高校卒業生⑩中国ルーツ卒業生 				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の人権計画を通して、多角的観点から考えられるようにした。 ・人権学習講演に向け、事前に各人権課題について学びを深め、受講させた。 ・生徒は事前学習を受けた上で、自らの課題や関心に合うよう受講希望するテーマを記入させ、選択できるようにした。 <p>A ジェンダーについて①②③ B多文化共生について④⑧ C生きづらさを抱えて⑥⑦ D 将来への不安⑤⑧⑨⑪ E 言葉の壁⑩（中国語・英語・やさしい日本語）</p>				

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科との
関連

人権学習の年間計画を意識して、個々の人権課題を網羅して人権感覚を養うベースとした。

事業成果

【知識的側面】 Q.今日の人権LHRを受けて、大切だと思ったこと、心にのこったこと、感じたこと：

受け入れるということ／相手の気持ちも考えて行動できるようになろうと思った
／理解のない人からの無意識な悪意のない発言が人を傷付ける事があるということが改めてわかった／必要な知識をつけ、適切な配慮をしていきたいと思った

【価値、態度的側面】 Q.すべての人が「自分らしく生きる」ために、何が必要だと思いますか？：

お互いの文化や習慣の違いを知り、受け入れる／お互いに自分の常識が相手にとっても常識だと思わない／見た目だけではわからない事が多いので決めつけたりしないこと／自分がこうなってたらいいなと理想などを考える想像力／**Believe in your self Because one way is best way / Respect**

【技能的側面】 すべての人が「自分らしく生きる」ために、どのように行動しますか？：

国籍や宗教、障がいの有無などに関わらず、全ての人を尊重し、受け入れることができる

○学校教育自己診断結果（生徒アンケートより）

「多文化について学ぶ機会がある」 R4/76.7% ⇒ R5/91.9%（目標値78%以上）

「日本語指導が必要な生徒の入学満足度

R4/76.7% ⇒ R5/91.9%（目標値100%めざす）

「人権について学ぶ機会がある」 R4/76.7% ⇒ R5/91.9%（目標値83%以上）

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	大阪府	学校名	大阪府立大阪わかば高等学校		
人権課題	拉致問題	対象学年・教科	1年次・総合的な 探究の時間	時数等	2時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と朝鮮半島との歴史的経過や関係を理解しながら、第二次世界大戦後の冷戦構造を理解し、拉致問題の背景を理解するとともに、拉致問題は重大な人権侵害であることの認識を深め、早期解決と拉致問題を許さない心を育む。 				
実施した内容	<p>【テーマ】「共生の未来へ」～アニメ「めぐみ」を観て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生野区の 코리아タウンを契機に日本と朝鮮半島の歴史を伝える。 日本と朝鮮半島の現在のつながりを考える。<歴史、文化交流、政治的関係>（1時間） ・アニメ「めぐみ」の視聴 アニメの中の母親のことばから当事者の思いを理解する。（1時間） 				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・本校が位置する大阪市生野区の 코리아タウンなど身近な話題について触れた。 ・事前学習としてスライドやプリントを用いて歴史的経過や関係などをわかりやすく説明して理解させた後、アニメ「めぐみ」を視聴することにより生徒の理解を深めた。 ・大阪府や学校の様々な国にルーツをもつ人の話から伝えた。 ・どうしたら解決に向かうか、国同士が手を取り合えるかなどをワークシートや話し合いの時間を設け、考えさせた。 				

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科との
関連

・地歴公民で国際関係や基本的人権について学習した。総合的な探究の時間での人権学習の年間計画を意識して、個々の人権課題に触れながら人権感覚を養うベースとした。

事業成果

【知識的側面】 Q.「共生の未来へ」を学んで感じたことや気になること、意見・感想を教えてください。

日本にも韓国、朝鮮にももっといいやり方があったのではないかと思った/I want to live a peaceful and happy life with others/本当に悲しい気持ちになりました/人権の重さを知れました

【価値、態度的側面】

Q.どうすれば仲良く平和な未来がつかれるか。国や政府にやってもらいたいことはどのようなことでしょうか。

戦争がなくなり、国同士が助け合う/他の国を侮辱するような発言をしない/思いやりの心をもつ/小さくても自分にできることをしたいなど
思った

【技能的側面】 Q.どうすれば仲良く平和な未来がつかれるか。私たちができることは何だと思えますか？

差別しない/関わる人と協力し合う関係を築くことができる/対話を通じて、わかり合うことができる/身近にかかわる人から、仲良く接することができる

○学校教育自己診断結果（生徒アンケートより）

「人権について学ぶ機会がある」 R4/76.7% ⇒ R5/91.9%（目標値83%以上）

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	大阪府	学校名	大阪府立大阪わかば高等学校		
人権課題	性的指向・性自認	対象学年・教科	全年次・総合的な 探究の時間	時数等	3時間
目標・人権教育のねらい	人権学習「自分らしく生きる」から、社会の中で自分らしく生きようとしているゲストの方のお話を聴き、一人ひとりが自分らしく生きるためにはどうすればいいかを考える。				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権講演のテーマに合わせ、事前学習を実施（1時間） 【テーマ】「自分らしく生きるために」 ・各人権課題における当事者等のゲストの方々を招いてそれぞれのお話を聞く。（2時間） ①②トランスジェンダーf to m 当事者として ③大阪教育大学フラワーのみなさん（性の多様性を考える） ④在日コリアとしての葛藤と魅力 ⑤わかばカフェスタッフ（ひきこもり、不登校を考える） ⑥犯罪被害者ご遺族の方 命の大切さを考える ⑦本校卒業生 全盲のダンサー・ドラマー⑧ 家族・学校・職場で生きづらさを抱えて ⑨大阪わかば高校卒業生⑩ 中国ルーツ卒業生 				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の人権計画を通して、多角的観点から考えられるようにした。 ・人権学習講演に向け、事前に各人権課題について学びを深め、受講させた。 ・生徒は事前学習を受けた上で、自らの課題や関心に合うよう受講希望するテーマを記入させ、選択できるようにした。 <p>A ジェンダーについて①②③ B 多文化共生について④⑧ C 生きづらさを抱えて⑥⑦ D 将来への不安⑤⑧⑨⑪ E 言葉の壁⑩（中国語・英語・やさしい日本語）</p>				

令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

他教科との
関連

人権学習の年間計画を意識して、個々の人権課題を網羅して人権感覚を養うベースとした。

事業成果

【知識的側面】 Q.今日の人権LHRを受けて、大切だと思ったこと、心にのこったこと、感じたこと：

性はそれぞれなんだから、その人その人にあった性があるってことがわかりました／多くの人、他の人の考えや性別などを知ること／カミングアウトしてくれた相手に対して、正しく接するためにはどのようにしたらよいかを知れた／多数派、マジョリティー、普通という定義を押し付けず、かと言って自分らしくあれと個性を押し付けることもない、選択の自由が約束されるべきだと思う

【価値、態度的側面】 Q.すべての人が「自分らしく生きる」ために、何が重要だと思いますか？：

相手の気持ちを考えることが大事だと思って生きています／お互いに自分の常識が相手にとっても常識だと思わない／見た目だけではわからない事が多いので決めつけたりしないこと／自分自信を好きになること／Listen your own／自分がこうなってたらいいなと理想などを考える想像力／Believe in your self Because one way is best way/Respect」

【技能的側面】 すべての人が「自分らしく生きる」ために、あなたはどのようなことができますか？：

自分の価値観を押し付けるのではなく、相手の気持ちを受け入れることができる／自分を好きになり、相手も大切にすることができる

○学校教育自己診断結果（生徒アンケートより）

「人権について学ぶ機会がある」 R4/76.7% ⇒ R5/91.9%（目標値83%以上）